

平成 27 年 6 月 25 日 00227 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】 第20回北見市総合武道祭が開催されました！

6月20日(土)北見市武道館全館を会場に「第20回北見市総合武道祭」が開催されました。12



第20回 北見市総合武道祭

時30分より、道場1にて北見市副市長や北見市議会議長を迎え総合開会式が執り行われ多くの御祝辞を頂きました。道場1では、北見空手協会の演武の後、北見空手クラブによる団体演目が披露されました。こちらの演目は、全道大会優勝・全国大会出場を果たした北見柏陽高等学校女子空手部3名によるもので、全国大会出場の実力をキレのある動きと共に披露していました。その後、合気道演武や今年度全日本柔道連盟形強化指定選手となっている、中澤伸一・中澤 正両名による極の形(キメのカタ)が披露され、弓道場にて北見市弓道会による射礼、道場2では、居合道・少林寺拳法・空手糸東会(シトウカイ)神武館による演武が披露されました。全体演武が終了した後は、道場1にて柔道大会・道場2にて紅白剣道大会・弓道場にて弓道大会が行われました。



北見空手協会



北見空手クラブ



北見居合道連盟

いて北見市弓道会による射礼、道場2では、居合道・少林寺拳法・空手糸東会(シトウカイ)神武館による演武が披露されました。全体演武が終了した後は、道場1にて柔道大会・道場2にて紅白剣道大会・弓道場にて弓道大会が行われました。

連載 「武道宝鑑」 第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

五、指導上の外的条件

○設備 3

坊間、動もすれば道場の空気が甚だ低紙で、技は盛んに練習するが休憩所における動作言語等頗る野卑愚劣なるを見受けることがあるが、かかる場所に於いては真の柔道修行者は出来ない。総じて修行者の環境をよくする事は指導者として大いに注意すべき事である。更にまた設備上の細かい点をいえば、日光を十分にとって道場を陰気ならしめず、空気の流通をよくして塵の立たぬようにし一面衛生の原則に適するよう注意も怠ってはならぬ、これも指導者が後進者に対する親切心である。また、これは人によって見解を異にするかも知れないが、道場の掃除は修行者自ら行う習慣づけることである。これは道場を愛する心を養成し、ひいて修行者相互の親密を増すと同時に、ここは道を学ぶ神聖な場所であると言う念を自然に起きさしめることにもなる。こういうと如何にも反時代的な指導方法のように考えられるかもしれぬが、私としては柔道の修行は、かくの如き所から出発しなければならぬと信じている。時間に来て、欲するだけの稽古をして、サッサと帰ってしまう、というようでは、柔道の修行は覺束ない。兎にも角にも、何よりも先ず苦しみ磨くという覚悟がなくては、武道修行は出来得ない。故に些細なことのようだが、こういう点にこそ大いに心すべきであると考えるのである。 つづく